

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601226
事業所名	グループホームひらばり

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会や老人会に所属しており、食事会や作品展に参加している。また、毎年中学生の職場体験の受け入れを行っている。地域住民とは野菜作り、蜂の飼育に協力してもらい毎月の朝市も恒例行事となっている。地域住民に認知症の理解を広めようと町内会で認知症劇を披露し好評であった。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は定期的に行われ、いきいき支援センター職員、民生委員、消防団団長、婦人会会長、家族など多くの参加がある。出席者の意見をもとに朝市でのフードバンク活動、夏祭り参加を実現した。毎回協議事項を提示し活発な意見交換がなされている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 名古屋市長主催の食中毒や災害についての研修に参加をしている。いきいき支援センターとは空き状況の確認や、介護に関する情報交換が行なわれている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 年に1回家族会として新年会を行なっている。年中行事では家族参加が多く、日頃から、要望や意見を聞く機会が多い。事業所としてはできる範囲で要望に答えられるよう、柔軟に対応している。毎月請求書に手書きのほほえみ便り、利用者の写真を添えて郵送している。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○				